

## 参考資料

### (1) 用語解説

#### ○ 死亡率

一定期間における死亡数を単純にその期間の人口で割ったものを死亡率といいます。

#### ○ 薬物療法

薬を使う治療のことです。がんの場合は、抗がん剤、ホルモン剤、免疫賦活剤（めんえきふかつざい：免疫力を高める薬剤）等を使う化学療法が、これに相当します。症状を和らげるためのいろいろな薬剤、鎮痛剤、制吐剤等も薬物療法の1つです。

#### ○ 病理コンサルテーション

病理診断が困難である症例の診断確定等について、全国の拠点病院等の病理医から、各種がん精通する病理医に相談（コンサルテーション）することです。国立がん研究センターや一般社団法人日本病理学会が実施しています。

#### ○ 晩期合併症

がんの治療後における治療に関連した合併症又は疾患そのものによる後遺症等を指し、身体的な合併症と心理社会的な問題があります。特に、成長期に治療を受けた場合、臓器障害や、身体的発育や生殖機能の問題、神経・認知的な発達への影響など、成人とは異なる問題が生じることがあります。

#### ○ 在宅療養支援診療所

地域において在宅医療を支える24時間の窓口として、他の病院、診療所等と連携を図りつつ、24時間往診、訪問看護等を提供する診療所です。

#### ○ 在宅療養支援病院

診療所のない地域において、在宅療養支援診療所と同様に、在宅医療の主たる担い手となっている病院です。

#### ○ 5年相対生存率

がんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。あるがんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合が、日本人全体（正確には、性別、生まれた年、および年齢の分布を同じくする日本人集団）で5年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表します。

#### ○ 年齢調整死亡率

年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率が、年齢調整死亡率（人口10万対）です。

都道府県別に粗死亡率を比較すると、各都道府県の年齢構成に差があるため、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向となります。

この年齢調整死亡率を用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確に地域比較や年次比較をすることができるようになります。

### ○ 年齢調整罹患率

年齢構成の異なる地域間で罹患の状況の比較ができるように、年齢調整死亡率と同じように年齢構成を調整した罹患率が、年齢調整罹患率（人口10万対）です。

### ○ 放射線療法

がんに治療用の電離放射線（ $\beta$ 線、 $\gamma$ 線など）を照射して、がん細胞の分裂を抑え、又はがん細胞を死滅させる治療法のことです。

### ○ 罹患

新たに病気にかかることです。

### ○ 罹患率

一定期間における新たに病気になった人数を人口と観察年数の積で割ったものを罹患率といいます。通常は、1年間の観察ですので、人口で割ります。

### ○ 臨床研究中核病院

医療法上位置づけられた、日本発の革新的医薬品・医療機器の開発などに必要となる質の高い臨床研究や治験を推進するため、国際水準の臨床研究や医師主導治験の中心的な役割を担う病院のことです。

### ○ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）

将来の変化に備えて、今後の治療や療養について、患者・家族・医療従事者等で前もって話し合いを行うことで、患者本人による意思決定を支援するプロセスのことです。「人生会議」とも呼ばれています。

### ○ AYA世代

Adolescent & Young Adult（思春期・若年成人）のことをいい、15歳から39歳の患者さんが対象になります。

### ○ 小慢さぽーとせんたー

小児慢性特定疾病を持った児童等やその家族の、日常生活上での悩みや不安などに対応する相談窓口です。小児慢性特定疾病児童等自立支援事業により、宮城県と仙台市が共同で東北大学病院へ委託しているものです。

## (2) 宮城県がん対策推進計画改定の経緯

年月日	経過
令和5(2023)年 3月	国の第4期がん対策推進基本計画の閣議決定
令和5(2023)年 6月13日	第1回宮城県がん対策推進協議会開催 (1) 第3期宮城県がん対策推進計画の評価案について (2) ワーキング部会の設置と部会委員の選任について
令和5(2023)年 7月31日	第2回宮城県がん対策推進協議会開催 【情報提供】 ・「宮城県 喫煙に関する問題について」 東北大学大学院医学系研究科産業医学分野 (東北大学環境・安全推進センター) 黒澤 一 教授 【議事】 ・第3期宮城県がん対策推進計画の最終評価について ・第4期宮城県がん対策推進計画の構成案及びロジックモデル案について 【その他】 ・「宮城県がん登録情報からの集計結果」 宮城県立がんセンター宮城県がん登録室 金村 政輝 室長
令和5(2023)年 8月24日	第1回宮城県がん対策推進協議会ワーキング部会開催 ・第4期宮城県がん対策推進計画の構成案及びロジックモデル案について
令和5(2023)年10月17日	第2回宮城県がん対策推進協議会ワーキング部会開催 ・第4期宮城県がん対策推進計画(中間案)について
令和5(2023)年11月16日	第3回宮城県がん対策推進協議会開催 ・第4期宮城県がん対策推進計画(中間案)について
令和5(2023)年12月7日～ 令和6(2024)年 1月8日	パブリックコメント実施
令和6(2024)年 2月2日	第4回宮城県がん対策推進協議会開催 ・第4期宮城県がん対策推進計画(最終案)について
令和6(2024)年 3月	第4期宮城県がん対策推進計画の策定・公表
令和6(2024)年 4月	第4期宮城県がん対策推進計画の施行



宮城県がん対策推進協議会

### (3) がん対策推進協議会条例

#### がん対策推進協議会条例（平成19年宮城県条例第36号）

##### （設置）

第1条 知事の諮問に応じ、宮城県がん対策推進計画の策定その他がん対策の推進に関する重要事項を審議するため、宮城県がん対策推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

##### （組織等）

第2条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者、医療従事者、関係行政機関及び県の職員その他知事が適当と認める者のうちから、知事が任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

##### （会長及び副会長）

第3条 協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

##### （会議）

第4条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

##### （意見の聴取等）

第5条 協議会は、必要があると認めるときは、議事に係る関係者又は専門家に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

##### （委任）

第6条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

#### 附 則

##### （施行期日）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

## (4) がん対策推進協議会委員名簿

委員名	所属・役職	備考
飯久保 正弘	一般社団法人宮城県歯科医師会 (東北大学大学院歯学研究科歯科医用情報学分野 教授)	
石岡 千加史	東北大学大学院医学系研究科・医学部臨床腫瘍学分野 教授	会長
井上 彰	東北大学大学院医学系研究科緩和医療学分野 教授	
加藤 勝章	公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センター 所長	
菊池 敦生	東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野 教授	
轡 基治	一般社団法人宮城県薬剤師会 副会長	
齋 和彦	宮城労働局職業安定部職業安定課長	
齋藤 祐一	宮城県学校保健会理事	
佐々木 加奈子	がんサバイバーシッププログラム「Glue グルー」 代表	
渋谷 勝	宮城県市長会（大崎市民生部長）	
菅原 よしえ	公益社団法人宮城県看護協会 (宮城大学看護学群 教授)	
橋本 省	公益社団法人宮城県医師会 副会長	副会長
森 弘毅	東日本旅客鉄道株式会社仙台健康推進センター 部長	
山崎 敦	株式会社河北新報社 論説委員	
山田 秀和	宮城県立がんセンター 総長	
吉田 久美子	がん患者会・サロンネットワークみやぎ代表 (四つ葉の会代表)	

(敬称略・順不同)

## (5) がん対策推進協議会ワーキング部会委員名簿

委員名	所属・役職	備考
浅沼 清孝	公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター 副所長	
阿部 佐智子	カトリアの森代表（婦人科がん患者会）	
金田 和彦	宮城産業保健総合支援センター 副所長	
神宮 啓一	東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野 教授	部会長
高橋 雅信	東北大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学分野 准教授	
丹田 滋	東北労災病院 検体検査管理者	
寶澤 篤	東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学専攻 公衆衛生学分野 教授	
宮下 光令	東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野 教授	

(敬称略・順不同)

アドバイザー名	所属・役職	備考
石岡 千加史	東北大学大学院医学系研究科・医学部臨床腫瘍学分野 教授	
金村 政輝	宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室 室長	

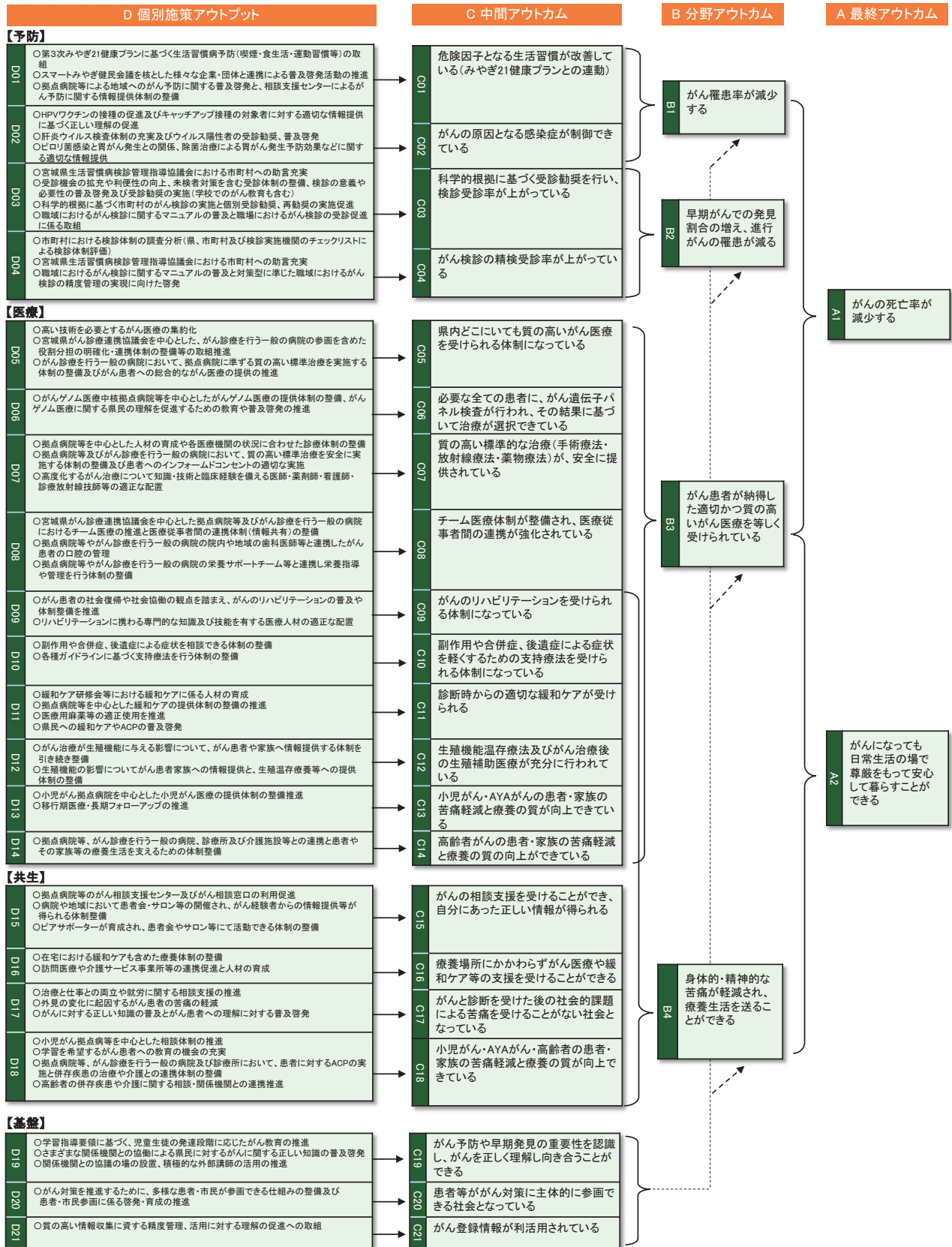
(敬称略・順不同)



# (6) 宮城県がん対策計画の進捗状況 (資料集)

## ○ロジックモデル案 (継続検討)

### 第4期宮城県がん対策推進計画ロジックモデル



宮城県がんロジックモデル指標一覧（案）

A 最終アウトカム										
番号	再掲	指標	現況				年/年度	目標値	出典	
			国	県	2次医療圏					
A101		年齢調整死亡率（75歳未満）	67.4	67.7		○	R3	12%減少	人口動態統計 国立がん研究センターがん情報サービス（人口動態統計）	
A102		がん種別年齢調整死亡率	食道	2.4	2.5		○	R3	減少	人口動態統計 国立がん研究センターがん情報サービス（人口動態統計） 基準人口は昭和60年モデル人口
			胃	6.6	6.6		○			
			結腸	5.9	5.4		○			
			直腸	3.7	4.1		○			
			肝	3.7	4.0		○			
			胆	2.0	1.9		○			
			膵	7.0	7.6		○			
			肺	11.9	12.0		○			
			乳房	9.9	8.5		○			
			子宮	4.9	5.3		○			
	前立腺	2.1	1.8		○					
A201		現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	70.5%	59.9%	-		H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
A202		現在自分らしい日常生活を送れていると感じる年少がん患者の割合	69.2%	公表なし	-		H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
A203		現在自分らしい日常生活を送れていると感じる老年がん患者の割合	66.8%	公表なし	-		H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	

B 分性別アウトカム										
番号	再掲	指標	現況				年/年度	目標値	出典	
			国	県	2次医療圏					
B101		がん種別罹患率	全部位（男）	445.7	453.6		○	R1	減少	全国がん登録
			全部位（女）	346.7	352.6		○			
			食道（男）	17.6	19.4		○			
			食道（女）	3.4	4.7		○			
			胃（男）	63.4	77.3		○			
			胃（女）	23.1	27.8		○			
			結腸（男）	43.4	42.2		○			
			結腸（女）	30.0	29.3		○			
			直腸（男）	29.8	30.8		○			
			直腸（女）	14.9	15.9		○			
			肝（男）	19.0	16.6		○			
			肝（女）	5.0	4.4		○			
			胆（男）	8.0	9.6		○			
			胆（女）	4.6	5.0		○			
			膵（男）	17.3	17.5		○			
			膵（女）	12.3	12.2		○			
			肺（男）	61.9	64.2		○			
			肺（女）	26.1	27.9		○			
			子宮頸（女）	13.9	9.3		○			
			子宮体（女）	20.2	18.8		○			
	乳房（女）	100.5	103.6		○					
	前立腺（男）	68.2	59.6		○					
B201		早期がんの割合	○	○		○		改善	全国がん登録	
B202		進行がん罹患率	○	○		○		改善	全国がん登録	
B301		がん生存率	○	○		○		改善	全国がん登録	
B302		小児がん患者の生存率	○	○		○		改善	全国がん登録	
B303		がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	7.9	8.0			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B304		若者ががん患者の診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	7.8	○			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B305		一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	75.6%	77.1%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B306		治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.2%	74.9%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B307		身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	55.4%	49.7%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B308		精神的苦痛を抱えるがん患者の割合	62.0%	55.7%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B401		身体的・精神的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	69.2%	59.8%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B402		がん相談支援センターを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	86.9%	○			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B403		ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	88.1%	○			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B404		家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	47.1%	48.9%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B405	○	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.2%	74.9%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B406		治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合	5.0%	9.0%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B407		経済的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	26.9%	36.3%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B408		がんと診断されてから病状や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	76.3%	79.9%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B409		がん患者の在宅死亡割合	27.0%	28.3%			R3	改善	人口動態統計（医療計画作成支援データベース）	
B410	○	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	55.4%	49.7%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
B411	○	精神的な苦痛を抱えるがん患者の割合	62.0%	55.7%			H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				年/年度	目標値	出典
			国	県	2次医療圏				
C0101		喫煙率	○	18.8%		-	R4	12%	県民健康・栄養調査
C0102		20歳未満の喫煙率	-	-		-	-	0%	県民健康・栄養調査
C0103		妊娠中の喫煙率	○	1.4%		-	R4	0%	健康推進課調べ
C0104		望まない受動喫煙の機会を有する者の割合（家庭（毎日））	○	12.6%		-	R4	0%	県民健康・栄養調査
		望まない受動喫煙の機会を有する者の割合（職場（毎日・時々））	○	22.0%		-	R4	0%	県民健康・栄養調査
		望まない受動喫煙の機会を有する者の割合（飲食店（毎日・時々））	○	13.8%		-	R4	0%	県民健康・栄養調査
C0105		喫煙の健康影響に関する知識の普及（肺がん）	○	82.7%		-	R4	100%	県民健康・栄養調査
C0106		1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上の者の割合	○	17.6%		-	R4	12%	県民健康・栄養調査
		1日当たりの純アルコール摂取量が女性20g以上の者の割合	○	9.4%		-	R4	6%	県民健康・栄養調査
C0107		運動習慣のある者の割合（20～64歳男性）	○	15.5%		-	R4	25%以上	県民健康・栄養調査
		運動習慣のある者の割合（20～64歳女性）	○	12.2%		-	R4	25%以上	県民健康・栄養調査
		運動習慣のある者の割合（65歳以上男性）	○	24.8%		-	R4	30%以上	県民健康・栄養調査
		運動習慣のある者の割合（65歳以上女性）	○	16.8%		-	R4	30%以上	県民健康・栄養調査
C0108		野菜の摂取量	○	275g		-	R4	350g以上	県民健康・栄養調査
		果物の摂取量	○	83.7g		-	R4	200g	県民健康・栄養調査
C0109		食塩摂取量	○	10.4g		-	R4	-	県民健康・栄養調査
		食塩摂取量（男性）	○	11.2g		-	R4	7.5g未満	県民健康・栄養調査
		食塩摂取量（女性）	○	9.7g		-	R4	6.5g未満	県民健康・栄養調査
C0110		BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合	○	56.6%		-	R4	66%	県民健康・栄養調査



C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏	年/年度			
C0111		拠点病院での診療外未受診患者数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0112		拠点病院が地域を対象としたがんに関するセミナーの開催回数・参加人数	○	要検討	○	-	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0201		HPVワクチン実施率	○	18.11%	○	R4	改善	地域保健・健康増進報告（接種者数）	
C0202		B型・C型肝炎ウイルス陽性者数	-	95人	-	R3	改善	疾病・感染症対策課調べ	
C0203		肝炎患者専門医療機関数	3,739機関	18機関	仙南 1機関 仙北 12機関 大崎 2機関 石巻 3機関	R4	改善	疾病・感染症対策課調べ	
C0204		肝炎医療コーディネーター養成者数	-	366人	-	R4	改善	疾病・感染症対策課調べ	
C0301		がん検診受診率	胃 41.9% 肺 45.9% 大腸 49.7% 子宮 47.4% 乳 43.3%	52.1% 55.3% 60.0% 59.8% 52.1% 58.7%	-	R4	70%	上段：国民生活基礎調査 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」 下段：県民健康・栄養調査	
C0302		指針に基づく各検診部位の検診を「実施した」と回答した市町村数	胃 99.8% 肺 99.8% 大腸 99.9% 子宮頸 99.7% 乳 99.7%	100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%	-	R4	維持	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
C0303		個別勧奨を実施している市町村数	胃 82.3% 肺 80.2% 大腸 83.7% 子宮頸 83.5% 乳 83.2%	88.6% 82.9% 80.0% 68.6% 68.6%	-	R4	改善	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
C0401		精密検査受診率	胃 83.5% 肺 82.6% 大腸 70.2% 子宮 76.6% 乳 89.8%	93.6% 83.9% 84.5% 96.2% 97.5%	○ ○ ○ ○ ○	R2	95%以上	地域保健・健康増進報告	
C0402		要精検者全員に受診可能な精密検査機関名の一覧を提示した市町村の割合	胃X線(集団) - 胃X線(個別) - 胃内視鏡(集団) - 胃内視鏡(個別) - 肺(集団) - 肺(個別) - 大腸(集団) - 大腸(個別) - 子宮頸(集団) - 子宮頸(個別) - 乳(集団) - 乳(個別) -	82.9% 100.0% 100.0% 50.0% 80.0% 100.0% 78.8% 80.0% 77.3% 79.3% 78.6% 86.7%	- - - - - - - - - - - -	R4	維持 維持 維持 改善 改善 改善 改善 改善 改善 改善 改善 改善	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
C0403		精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行った市町村の割合	胃X線(集団) - 胃X線(個別) - 胃内視鏡(集団) - 胃内視鏡(個別) - 肺(集団) - 肺(個別) - 大腸(集団) - 大腸(個別) - 子宮頸(集団) - 子宮頸(個別) - 乳(集団) - 乳(個別) -	97.1% 100.0% 100.0% 50.0% 97.1% 100.0% 97.0% 100.0% 100.0% 86.2% 100.0% 73.3%	- - - - - - - - - - - -	R4	改善 維持 維持 改善 改善 維持 改善 維持 改善 改善 維持 改善	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
C0501		QI指標	-	要検討	-	-	改善	(詳細は別途定める)	
C0601		がんゲノム情報管理センターに登録された患者の数	○	○	-	-	改善	各がんゲノム医療中核拠点病院等がC-CATを参照して記載した現況報告書	
C0602		がんゲノム医療中核拠点病院等において遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを実施した患者の数：遺伝性腫瘍に係る「遺伝カウンセリング料」の算定件数	○	48人 -件	-	R4	改善	NDBオープンデータ がんゲノム拠点病院現況報告書	
C0603		がんに関する遺伝カウンセリング加算の拠点病院における実施施設数および件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0604		拠点病院で遺伝医学に関する専門的知識・技能を有する医師・医療スタッフの数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0605		ゲノム情報を活用したがん医療について知っているがん患者が回答した割合	18.3%	18.3%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C0606		がん治療前、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	34.9%	48.0%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C0701		外来化学療法の実施件数	313,823件	5,921件	仙南 272件 仙北 4,048件 大崎 795件 石巻 806件	R2	改善	医療施設調査（医療計画作成支援データブック）	
C0702		悪性腫瘍の手術実施件数	58,737件	1,126件	仙南 28件 仙北 869件 大崎 129件 石巻 100件	R2	改善	医療施設調査（医療計画作成支援データブック）	
C0703		悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	13,366,827件	268,914件	仙南 9,395件 仙北 196,147件 大崎 28,697件 石巻 34,675件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）	
C0704		術中迅速病理組織標本の作製件数	123,348件	3,304件	仙南 91件 仙北 2,698件 大崎 218件 石巻 297件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）	
C0705		病理標本作製件数	2,021,552件	33,240件	仙南 1,344件 仙北 24,684件 大崎 3,227件 石巻 3,985件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）	
C0706		拠点病院における「我が国に多いがん」の鏡視下またはロボット手術の件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0707		拠点病院に配置されている常勤病理医の数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/現況報告書	
C0708		拠点病院に配置されている細胞診断に関する専門資格を有する者の数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/現況報告書	
C0709		放射線治療の実施件数	200,200件	3,884件	仙南 9件 仙北 3,719件 大崎 124件 石巻 32件	R2	改善	医療施設調査（医療計画作成支援データブック）/現況調査	
C0710		IMRTを提供している拠点病院等の数と割合	○	5施設 (71.4%)	仙南 0施設 (0%) 仙北 3施設 (60%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 1施設 (100%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0711		常勤の診療放射線技師が2人以上配置されているがん診療連携拠点病院等の割合	○	100%	仙南 100% 仙北 100% 大崎 100% 石巻 100%	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0712		専従の放射線治療に関する専門資格を有する常勤の看護師が放射線治療部門に1人以上配置されている拠点病院の割合	○	43%	仙南 - 仙北 40% 大崎 100% 石巻 0%	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏	年/年度			
C0713		がん診療連携拠点病院等のIMRT実施率	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0714		がん診療連携拠点病院等の常勤の医学物理士の数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0715		がん診療連携拠点病院等のR治療実施件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C0716		がん専門看護師の数	1,054人	16人	-	R4	改善	日本看護協会（医療計画作成支援データブック）	
C0717		がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する看護師外来化学療法室に1人以上配置されている拠点病院等の数と割合	○	7施設 (87.5%)	仙南 1施設 (100%) 仙台 5施設 (100%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0718		専門認定薬剤師数	786人	12人	-	R5	改善	日本医療薬学会（医療計画作成支援データブック）	
C0719		専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する薬剤師が1名以上配置されている拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%) 仙台 5施設 (100%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0720		薬物療法に携わる専門的な知識・技能を有する常勤の医師が1名以上配置されている拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%) 仙台 5施設 (100%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0721		免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携して対応している拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%) 仙台 5施設 (100%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0722		自施設で対応できるがんについて提供可能な診療内容を病院HP等でわかりやすく広報している拠点病院等の数と割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%) 仙台 5施設 (100%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 1施設 (100%)	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0723		担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	○	○	-	-	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C0801		臨床倫理的、社会的な問題を解決するための具体的な事例に則した患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンス回数	○	5.69回	仙南 4回 仙台 7.3回 大崎 4回 石巻 1回	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0802		がん患者の口腔健康管理のため院内または地域の歯科医師と連携した拠点病院の割合および件数	-	100% 要検討	仙南 100% 一件 仙台 100% 一件 大崎 100% 一件 石巻 100% 一件	R4 -	維持 改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 宮城県がん診療連携協議会調査	
C0803		連携充実加算を算定している拠点病院の割合および加算件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/NDBオープンデータ	
C0804		がん患者指導管理料の算定数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/NDBオープンデータ	
C0805		栄養サポートチーム加算を算定している拠点病院の割合とがん患者対象の加算件数	-	要検討	-	-	改善	現況報告書/宮城県がん診療連携協議会調査	
C0806		医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	68.8%	64.6%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C0807		主治医以外にも相談しやすい医療スタッフがいた患者の割合	48.8%	47.6%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C0901		がんのリハビリテーションの実施件数	6,075,630件	106,421件	仙南 4,083件 仙台 77,393件 大崎 9,539件 石巻 15,406件	R3	改善	NDBオープンデータ（医療計画作成支援データブック）	
C0902		がんリハビリテーション科層出医療機関数	1,953機関	35機関	仙南 3機関 仙台 22機関 大崎 4機関 石巻 6機関	R3	改善	診療報酬施設基準（医療計画作成支援データブック）	
C0903		リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されているがん診療連携拠点病院の割合	○	85.70%	仙南 - 仙台 100% 大崎 100% 石巻 0%	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C0904		がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する療法士等を配置しているがん診療連携拠点病院の割合	○	100%	仙南 - 仙台 100% 大崎 100% 石巻 100%	R4	維持	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1001		拠点病院のピアランスケアの相談件数	○	655件	仙南 15件 仙台 463件 大崎 173件 石巻 4件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 （相談支援センターの相談件数及び連携協力体制の院内で相談支援・支援の件数）	
C1002		リンパ浮腫外来の設置拠点病院等数と割合、対象患者数	-	要検討	-	-	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書/宮城県がん診療連携協議会調査	
C1003		ストーマ外来を設置している拠点病院の数と割合、対象患者数	-	要検討	-	-	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書/宮城県がん診療連携協議会調査	
C1004		治療による副作用の見通しを持ってた患者の割合	63.0%	68.5%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1005		身体的なつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	45.6%	48.2%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1006		外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できたがん患者の割合	28.3%	29.3%	-	H30	改善	患者体験調査（国立がん研究センター）	
C1101		緩和ケア外来の新規診療患者数	○	595人	仙南 37件 仙台 415件 大崎 14件 石巻 129件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1102		拠点病院の緩和ケアチーム新規介入患者数	○	2,205人	仙南 180人 仙台 1,735人 大崎 157人 石巻 133人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1103		地域緩和ケア連携推進のための多施設合同会議の開催数	○	9回	仙南 1回 仙台 7回 大崎 1回 石巻 0回	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1104		地域の医療機関からの緩和ケア外来への年間新規紹介患者数	○	84人	仙南 34人 仙台 46人 大崎 0人 石巻 4人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1105	○	臨床倫理的、社会的な問題を解決するための具体的な事例に則した患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンス回数	○	5.69回	仙南 4回 仙台 7.3回 大崎 4回 石巻 1回	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況				目標値	出典	
			国	県	2次医療圏	年/年度			
C1106		緩和的放射線治療の実施件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1107		神経破壊療法または高周波凝固療法を施設または連携施設で実施した件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1108		拠点病院でのがん患者指導管理料イ・ロの算定件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査/NDBオープンデータ	
C1109		患者・家族が個室又は大部屋に関わらず概ね全ての病室において利用できる拠点病院の数と割合	○	3施設 (37.5%)	仙南 0施設 (0%) 仙北 2施設 (40%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1110		緩和ケア研修修了者数 (人口10万人対)	140.78人	93.35人	-	-	改善	健康推進課調べ	
C1111	○	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	55.4%	49.7%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1112	○	精神的な苦痛を抱えるがん患者の割合	62.0%	55.7%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1113		医療者はつらい症状にすみやかに対応していたと感じる割合	75.0%	74.6%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1114	○	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると感じる患者の割合	46.5%	48.2%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1115		心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	32.8%	30.6%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1116		医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	71.9%	73.5%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1117		県民を対象とした、がんに関するセミナーなどの開催回数と参加人数	-	-	-	-	改善	健康推進課調べ (県主催・共催・後援行事)	
C1201		日本がん・生体医療登録システム(JOFR)への登録症例数	○	○	-	-	改善	日本・がん生体医療学会からのデータ提供	
C1202		生体機能温存治療費助成の件数	-	32件	-	R4	改善	健康推進課調べ	
C1203		温存後生体補助医療費助成の件数	-	5件	-	R4	改善	健康推進課調べ	
C1204		がん相談支援センターにおける「妊孕性・生体機能」に関する相談件数	○	10件	仙南 1件 仙北 10件 大崎 0件 石巻 0件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1205		治療開始前に、生体機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	52.0%	50.0%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1301		小児がん拠点病院で専門的な知識・技能を有する医師・医療スタッフの数	○	○	-	-	改善	小児がん拠点病院現況報告書	
C1302		小児がん長期フォローアップ外来を開設している拠点病院の数と対象患者数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1303		多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等の数と割合	○	2施設 (25%)	仙南 0施設 (0%) 仙北 2施設 (40%) 大崎 0施設 (0%) 石巻 0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1304		AYA支援チームの活動内容	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1401		高齢がん患者に意思決定能力を含む機能評価を行い、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院の数・割合	○	8施設 (100%)	仙南 1施設 (100%) 仙北 5施設 (100%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 1施設 (100%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1402		初診及び入院高齢がん患者のうち上記の評価が実施された数と割合	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1403		拠点病院における高齢者の相談件数	-	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1501		拠点病院相談支援センターの自施設・多施設からの新規相談件数	自施設 ○	2,497件	仙南 293件 仙北 1,639件 大崎 220件 石巻 345件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
			他施設 ○	1,022件	仙南 231件 仙北 750件 大崎 8件 石巻 33件		改善		
C1502		相談員研修を修了したがん相談支援センター相談員 (専従専任) の人数	○	20人	仙南 3人 仙北 13人 大崎 2人 石巻 2人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (相談支援センター相談員研修・基礎研修(1)-(3)修了者のうち相談支援に携わる専従及び専任の人数)	
C1503		上記のうちフォローアップ研修を受けた相談員の数	○	17人	仙南 1人 仙北 15人 大崎 0人 石巻 1人	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (定期的な知識の更新のための研修等受講人数)	
C1504		拠点病院のがん相談窓口での相談件数	-	7,571件	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1505		拠点病院以外の施設のがん相談窓口での相談件数	-	1,193件	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1506		拠点病院におけるセカンドオピニオン件数	○	186件	仙南 5件 仙北 174件 大崎 5件 石巻 2件	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (セカンドオピニオン受け入れ及び他への紹介の相談件数)	
C1507		拠点病院で患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している数と割合	○	4施設 (50%)	仙南 0施設 (0%) 仙北 3施設 (60%) 大崎 1施設 (100%) 石巻 0施設 (0%)	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1508		拠点病院で各種冊子や視聴覚教材等がオンラインでも確認できる数と割合	○	○	○	-	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
C1509		各拠点病院で連携している患者会・サロンの数と開催回数・参加人数	回数 ○	270回	○	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書	
			人数 ○	要検討	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査	
C1510		患者会・サロンの開催回数	-	270回	-	R3	改善	健康推進課調べ	
C1511		ピアサポーター養成研修受講者数	-	153人	-	R3	改善	健康推進課調べ	
C1512	○	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を聞いたがん患者の割合	34.9%	48.0%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1513		相談支援センターについて知っているがん患者の割合	66.4%	71.2%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1514		ピアサポートについて知っているがん患者の割合	27.3%	24.3%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1515	○	ピアサポートを利用したことがあり、役に立ったがん患者の割合	88.1%	○	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1516	○	がんと診断されたら病状や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	76.3%	79.9%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	
C1601		在宅末期医療総合診療科届け出施設数	○	127施設	○	R3	改善	診療報酬施設基準	
C1602		在宅がん医療総合診療科の算定件数	523,514件	36,381件	仙南 6,952件 仙北 24,892件 大崎 3,473件 石巻 1,064件	R3	改善	NDBオープンデータ	
C1603		専門医療機関連携薬局の認定数	135	6	-	R4	改善	業務課調べ	
C1604		病院以外の自宅・施設でがん患者看取り率	○	○	-	-	改善	人口動態推計	
C1605	○	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を聞いたがん患者の割合	34.9%	48.0%	-	H30	改善	患者体験調査 (国立がん研究センター)	

C 初期アウトカム									
番号	再掲	指標	現況					目標値	出典
			国	県	2次医療圏				
C1701	○	拠点病院のアピアランスケアの相談件数	○	655件	仙南 15件 仙台 463件 大崎 173件 石巻 4件	-	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (相談支援センターの相談件数及び連携協力体制の院内で相談支援・ 支援の件数)
C1702	○	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できた患者の割合	28.3%	29.3%	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1703		拠点病院の就労支援の相談件数	○	249件	仙南 42件 仙台 113件 大崎 85件 石巻 9件	-	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書 (相談支援センターの相談件数)
C1704		療養・就労両立支援指導料のがんを対象とした算定数	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1705		拠点病院での就労の専門家による相談会の件数	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1706		拠点病院で長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1707		長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	5.6%	10.2%	-	-	R3	改善	宮城労働局
C1708		拠点病院での両立支援コーディネーター研修修了者数	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1709		両立支援コーディネーター研修修了者数	17,695人	564人	-	-	R4	改善	防災医療等医学研究普及サイト(労働者健康安全機構)
C1710		がん患者の自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院の数と割合	○	3施設 (37.5%)	-	○	R4	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C1711	○	各拠点病院で連携している患者会・サロンの数と開催回数・参加人数	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1712		治療開始前に就労の継続について説明を受けたがん患者の割合	39.50%	51.80%	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1713		がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	39.5%	51.8%	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1714		退職したががん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	80.2%	75.5%	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1715		治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	56.8%	57.6%	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1716		治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされている患者の割合	54.2%	57.1%	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1717		(家族以外の)周囲の人からがんに対する偏見を感じる割合	65.0%	68.6%	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1801		拠点病院におけるAYA世代の相談件数	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C1802		小児がん拠点病院の相談件数	-	185件	-	-	R4	改善	小児がん拠点病院現況報告書
C1803		小児がんとせんとーの相談件数	-	778件	-	-	R4	改善	疾病・感染症対策課調べ(山口市含む。)
C1804		がんと診断されてから病状や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合	89.0%	○	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1805	○	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できた若年患者の割合	46.3%	○	-	-	H30	改善	患者体験調査(国立がん研究センター)
C1901		外部講師を活用してがん教育を実施した学校の数と割合	3,040校 8.4%	25校 3.5%	-	-	R3	改善	がん教育の実施状況調査
C1902	○	拠点病院が実施した地域を対象とした、がんに関するセミナーなどの開催回数と参加人数	○	○	○	○	-	改善	がん診療連携拠点病院の現況報告書
C1903	○	県民を対象とした、がんに関するセミナーなどの開催回数と参加人数	-	-	-	-	-	改善	健康推進課調べ(県主催・共催・後援行事)
C2001		宮城県がん診療連携協議会における患者・市民を代表する委員の割合	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん診療連携協議会調査
C2002		宮城県がん対策推進協議会における患者・市民を代表する委員の割合	-	○	-	-	-	改善	健康推進課調べ
C2101		宮城県がん登録の活用件数	-	要検討	-	-	-	改善	宮城県がん登録室調べ

# 参考データ

## ○宮城県人口

	H28	R4	増減
計	2,329,431	2,279,554	▲ 49,877
男	1,138,441	1,111,502	▲ 26,939
女	1,190,990	1,169,052	▲ 21,938

出典：宮城県推計人口年報

## ○医療圏別人口

医療圏	H28	R4	増減
仙南	175,595	162,175	▲ 13,420
仙台	1,531,442	1,539,838	8,396
大崎栗原	273,090	252,453	▲ 20,637
石巻・登米・気仙沼	349,304	325,088	▲ 24,216
計	2,329,431	2,279,554	▲ 49,877

出典：宮城県推計人口年報

## ○医療圏別 65 歳人口及び高齢化率

医療圏	仙南		仙台		大崎・栗原		石巻・登米・気仙沼		県計	
	65 歳以上人口	高齢化率	65 歳以上人口	高齢化率	65 歳以上人口	高齢化率	65 歳以上人口	高齢化率	65 歳以上人口	高齢化率
平成 28 年	54,844	31.3	351,751	23.4	86,940	31.5	113,316	32.0	606,851	26.3
令和 4 年	57,746	35.1	385,806	25.6	90,858	35.3	116,941	35.4	651,351	28.8
増減	2,902		34,055		3,918		3,625		44,500	

出典：宮城県高齢者人口調査結果

## ○がんの 75 歳未満年齢調整死亡率（全国との比較）

全部位		H17	H22	H27	(順位)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	(順位)	H27-R3 増減割合
計	宮城県	89.8	81.7	77.3	(25 位)	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	(26 位)	-12.4%
	全国	92.4	84.3	78.0		76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4		-13.6%
男	宮城県	116.4	106.5	98.4	(23 位)	90.3	88.8	85.1	84.6	83.5	81.1	(22 位)	-17.6%
	全国	122.1	109.1	99.0		95.8	92.5	88.6	86.0	85.6	82.4		-16.8%
女	宮城県	66.4	59.0	57.5	(24 位)	54.2	56.8	57.4	56.4	51.6	55.6	(38 位)	-3.3%
	全国	65.6	61.8	58.8		58.0	56.4	56.0	55.2	54.9	53.6		-8.9%

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

## ○がんの死亡数

		H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮城県	計	5,890	6,371	6,578	6,663	6,716	6,626	6,822	6,845	6,969
	男	3,531	3,744	3,898	3,930	3,921	3,821	3,968	3,982	4,017
	女	2,359	2,627	2,680	2,733	2,795	2,805	2,854	2,863	2,952

出典：人口動態統計

○がんの年齢調整死亡率（全年齢）

		H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮城県	男	194.1	177.1	160.5	157.2	151.8	144.6	146.0	149.6	145.6
	女	97.3	90.3	84.5	82.9	84.9	84.5	84.3	81.2	83.5

出典：死亡数、総人口及び昭和60年モデル人口から算出 国立がんセンターのデータと合わせるために総人口を使用

○主な部位別がん死亡数

			H27	R3	増減
宮城県	胃	男	499	436	▲ 63
		女	257	264	7
	肺	男	996	974	▲ 22
		女	343	395	52
	肝臓	男	301	269	▲ 32
		女	162	154	▲ 8
	膵臓	男	305	390	85
		女	303	375	72
	結腸	男	265	312	47
		女	316	351	35
	直腸	男	170	185	15
		女	88	103	15
子宮	女	132	112	▲ 20	
乳房	女	229	252	23	

出典：人口動態統計

○がん死亡数の順位（部位別）

			第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男	宮城県	H28	肺	胃	大腸*	膵臓	肝臓
		R3	肺	大腸*	胃	膵臓	肝臓
	全国	H28	肺	胃	大腸*	肝臓	膵臓
		R3	肺	大腸*	胃	膵臓	肝臓
女	宮城県	H28	大腸*	肺	膵臓	乳房	胃
		R3	大腸*	肺	膵臓	胃	乳房
	全国	H28	大腸*	肺	膵臓	胃	乳房
		R3	大腸*	肺	膵臓	乳房	胃

出典：人口動態統計

大腸\*：結腸及び直腸を合計したもの



○主な部位別年齢調整死亡率（75歳未満）

			H23	H27	(順位)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	(順位)	
男	胃	宮城県	16.9	14.4	(34位)	13.5	10.8	11.4	10.8	9.8	8.8	(13位)	
		全国	16.2	13.4	—	12.5	12.0	11.2	10.4	10.2	9.6	—	
	肺	宮城県	24.1	23.6	(36位)	19.0	20.9	20.0	19.2	19.7	18.2	(23位)	
		全国	23.5	22.9	—	21.7	20.8	20.0	19.5	19.5	18.4	—	
	肝臓	宮城県	8.8	8.0	(17位)	6.8	8.2	7.3	5.7	6.0	6.2	(26位)	
		全国	11.2	8.8	—	8.2	7.5	6.8	6.6	6.4	5.9	—	
	結腸	宮城県	6.7	6.3	(8位)	6.8	7.2	6.2	6.5	6.5	6.0	(9位)	
		全国	7.7	7.7	—	7.5	7.6	7.4	7.1	7.3	7.1	—	
	直腸	宮城県	5.5	5.5	(18位)	5.5	5.4	4.7	6.0	5.4	5.7	(30位)	
		全国	6.1	5.8	—	5.8	5.7	5.4	5.4	5.4	5.3	—	
	膵臓	宮城県	8.5	9.4	(38位)	9.5	9.1	8.5	8.6	8.5	9.0	(30位)	
		全国	8.8	8.5	—	8.7	8.7	8.8	8.6	8.8	8.7	—	
				H23	H27	(順位)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	(順位)
	女	胃	宮城県	5.7	4.8	(12位)	4.4	4.8	4.7	3.9	4.2	4.5	(39位)
全国			6.1	5.2	—	4.9	4.6	4.4	4.2	4.1	3.9	—	
肺		宮城県	7.0	6.1	(18位)	5.1	6.1	6.1	5.7	4.9	6.2	(36位)	
		全国	7.0	6.7	—	6.5	6.0	6.2	5.9	5.9	5.8	—	
肝臓		宮城県	2.7	2.0	(18位)	1.7	2.1	2.1	1.8	1.8	2.0	(39位)	
		全国	3.0	2.2	—	2.2	1.8	1.8	1.5	1.6	1.5	—	
結腸		宮城県	6.1	4.9	(21位)	5.3	5.5	5.5	4.5	4.5	4.9	(31位)	
		全国	5.2	5.2	—	5.2	5.1	5.0	5.0	4.8	4.8	—	
直腸		宮城県	2.2	1.7	(5位)	1.3	1.8	2.8	2.5	2.7	2.6	(41位)	
		全国	2.3	2.4	—	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.1	—	
膵臓		宮城県	5.2	5.2	(28位)	4.5	4.7	5.9	5.1	5.4	6.2	(44位)	
		全国	5.2	5.0	—	5.1	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	—	
子宮		宮城県	3.9	5.4	(34位)	4.9	5.3	4.2	5.4	4.2	5.3	(35位)	
		全国	4.6	4.9	—	4.7	4.8	4.9	5.1	5.0	4.9	—	
乳房	宮城県	11.0	10.3	(24位)	12.1	11.8	9.7	9.9	8.4	8.5	(9位)		
	全国	10.8	10.7	—	10.7	10.7	10.7	10.6	10.2	9.9	—		

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

○主な部位別年齢調整死亡率（全年齢）

			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
男	胃	宮城県	21.8	22.9	18.9	18.3	18.1	17.7	15.6
		全国	23.1	22.5	20.8	19.6	18.6	18.4	17.5
	肺	宮城県	40.9	35.1	36.7	35.3	35.0	37.0	34.7
		全国	39.4	39.1	36.6	35.3	35.1	35.2	34.2
	結腸	宮城県	10.8	11.6	11.8	10.9	11.6	11.3	11.2
		全国	13.0	13.1	12.6	12.3	12.0	12.3	12.1
	直腸	宮城県	7.9	7.8	7.6	6.7	8.2	7.3	7.7
		全国	8.1	8.3	7.8	7.6	7.6	7.6	7.5
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
女	胃	宮城県	7.4	7.3	7.7	7.1	6.8	6.7	6.7
		全国	8.4	8.2	7.6	7.3	7.0	6.8	6.5
	肺	宮城県	10.2	9.3	10.3	10.1	10.1	9.8	10.1
		全国	11.2	11.2	10.3	10.5	10.3	10.4	10.4
	結腸	宮城県	8.4	9.2	9.3	9.1	8.0	7.9	8.4
		全国	8.8	8.9	8.5	8.4	8.3	8.3	8.2
	直腸	宮城県	2.6	2.4	2.7	3.7	3.5	3.6	3.4
		全国	3.4	3.5	3.2	3.2	3.3	3.3	3.1
	子宮	宮城県	6.2	5.5	6.0	4.9	5.8	5.1	5.7
		全国	5.6	5.5	5.5	5.6	5.8	5.7	5.7
	乳房	宮城県	11.4	13.6	13.0	11.2	11.3	9.9	10.0
		全国	11.9	12.3	12.0	12.1	12.1	11.8	11.6

出典：死亡数、総人口及び昭和60年モデル人口から算出 国立がんセンターのデータと合わせるために総人口を使用

○罹患数

		H27	R3	増減
宮城県	計	16,777	18,527	1,750
	男	9,577	10,514	937
	女	7,200	8,013	813

出典：宮城県がん登録事業（H27）全国がん登録（R3）

○年齢調整罹患率

		H28	(順位)	H29	(順位)	H30	(順位)	R1	(順位)
計	宮城県	287.8	(10位)	289.7	(15位)	285.2	(15位)	287.2	(15位)
	全国	293.2	—	283.6	—	280.6	—	282.1	—
男	宮城県	326.8	(9位)	322.3	(10位)	314.2	(10位)	319.7	(16位)
	全国	333.0	—	321.6	—	316.4	—	315.0	—
女	宮城県	259.7	(11位)	267.4	(21位)	266.3	(24位)	264.7	(18位)
	全国	265.7	—	257.3	—	256.0	—	260.2	—

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

○主な部位別がん罹患数

			H27	R3	増減
宮城県	胃	男	499	436	▲ 63
		女	257	264	7
	肺	男	996	974	▲ 22
		女	343	395	52
	肝臓	男	301	269	▲ 32
		女	162	154	▲ 8
	膵臓	男	305	390	85
		女	303	375	72
	結腸	男	265	312	47
		女	316	351	35
	直腸	男	170	185	15
		女	88	103	15
	子宮	女	132	112	▲ 20
	乳房	女	229	252	23

○がん罹患数の順位（部位別）

			第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男	宮城県	H28	胃	大腸*	肺	前立腺	食道
		R1	胃	大腸*	肺	前立腺	食道
	全国	H28	胃	前立腺	大腸	肺	肝臓
		R1	前立腺	大腸*	胃	肺	肝臓
女	宮城県	H28	乳房	大腸*	胃	肺	子宮
		R1	乳房	大腸*	胃	肺	子宮
	全国	H28	乳房	大腸*	胃	肺	子宮
		R1	乳房	大腸*	肺	胃	子宮

出典：全国がん登録

大腸\*：結腸及び直腸を合計したもの

○主な部位別年齢調整罹患率（全年齢・世界人口10万人対）

		H28	(順位)	H29	(順位)	H30	(順位)	R1	(順位)	
男	胃	宮城県	57.6	(32位)	56.8	(39位)	55.8	(41位)	52.8	(38位)
		全国	50.9	—	47.8	—	45.4	—	43.4	—
	肺	宮城県	43.4	(14位)	44.2	(26位)	41.1	(17位)	43.9	(32位)
		全国	45.1	—	43.5	—	42.2	—	42.4	—
	肝臓	宮城県	13.3	(11位)	12.5	(16位)	12.7	(18位)	11.5	(9位)
		全国	15.8	—	14.4	—	13.8	—	13.2	—
	結腸	宮城県	33.2	(33位)	30.2	(20位)	31.2	(33位)	29.5	(23位)
		全国	32.6	—	31.2	—	30.3	—	30.5	—
	直腸	宮城県	22.8	(25位)	21.2	(20位)	21.4	(25位)	22.9	(40位)
		全国	22.8	—	21.9	—	21.5	—	21.8	—
	膵臓	宮城県	12.1	(31位)	12.1	(31位)	12.0	(29位)	12.1	(27位)
		全国	11.9	—	11.9	—	11.9	—	12.0	—
			H28	(順位)	H29	(順位)	H30	(順位)	R1	(順位)
	女	胃	宮城県	20.7	(34位)	20.8	(39位)	21.9	(44位)	19.1
全国			18.6	—	17.5	—	16.5	—	16.1	—
肺		宮城県	19.2	(27位)	19.2	(29位)	17.6	(27位)	19.7	(42位)
		全国	19.2	—	19.0	—	17.9	—	18.3	—
肝臓		宮城県	4.6	(14位)	3.5	(4位)	4.1	(23位)	3.0	(3位)
		全国	5.2	—	4.7	—	4.2	—	4.1	—
結腸		宮城県	22.5	(27位)	22.3	(35位)	22.3	(40位)	20.8	(25位)
		全国	22.5	—	21.4	—	20.9	—	21.2	—
直腸		宮城県	10.8	(17位)	12.1	(45位)	9.3	(7位)	11.7	(38位)
		全国	11.4	—	10.7	—	10.5	—	11.0	—
膵臓		宮城県	7.1	(7位)	9.0	(45位)	8.7	(31位)	8.4	(24位)
		全国	8.1	—	8.0	—	8.3	—	8.6	—
子宮頸部		宮城県	8.1	(4位)	7.3	(1位)	8.8	(6位)	7.2	(2位)
		全国	11.4	—	11.1	—	11.0	—	10.8	—
子宮体部		宮城県	14.3	(21位)	13.5	(9位)	14.3	(16位)	14.6	(15位)
		全国	14.4	—	14.7	—	15.1	—	15.6	—
乳房		宮城県	77.1	(24位)	79.7	(42位)	80.2	(44位)	79.5	(38位)
		全国	78.8	—	75.2	—	75.6	—	77.1	—

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

○主な部位別年齢調整罹患率（全年齢・昭和60年日本人モデル人口10万人対）

			H28	(順位)	H29	(順位)	H30	(順位)	R1	(順位)	
男	胃	宮城県	83.0	(32位)	82.6	(39位)	80.9	(41位)	77.3	(39位)	
		全国	73.8	—	69.4	—	66.1	—	63.4	—	
	肺	宮城県	63.0	(14位)	63.3	(24位)	60.0	(17位)	64.2	(34位)	
		全国	65.3	—	63.2	—	61.5	—	61.9	—	
	肝臓	宮城県	19.2	(11位)	17.8	(12位)	18.0	(17位)	16.6	(11位)	
		全国	22.8	—	20.8	—	20.0	—	19.0	—	
	結腸	宮城県	47.3	(35位)	42.6	(19位)	44.2	(34位)	42.2	(24位)	
		全国	46.4	—	44.3	—	43.2	—	43.4	—	
	直腸	宮城県	31.1	(25位)	28.9	(19位)	29.3	(25位)	30.8	(37位)	
		全国	31.1	—	29.9	—	29.5	—	29.8	—	
	膵臓	宮城県	17.3	(31位)	17.4	(32位)	17.0	(28位)	17.5	(29位)	
		全国	17.0	—	17.0	—	17.0	—	17.3	—	
				H28	(順位)	H29	(順位)	H30	(順位)	R1	(順位)
	女	胃	宮城県	29.5	(34位)	29.6	(39位)	31.1	(43位)	27.8	(38位)
全国			26.5	—	24.9	—	23.6	—	23.1	—	
肺		宮城県	27.0	(27位)	27.1	(29位)	24.9	(28位)	27.9	(42位)	
		全国	27.2	—	26.9	—	25.5	—	26.1	—	
肝臓		宮城県	6.7	(13位)	5.3	(6位)	5.7	(19位)	4.4	(3位)	
		全国	7.7	—	6.8	—	6.2	—	6.0	—	
結腸		宮城県	31.7	(27位)	31.7	(37位)	31.3	(40位)	29.3	(23位)	
		全国	31.8	—	30.2	—	29.5	—	30.0	—	
直腸		宮城県	14.7	(18位)	16.3	(45位)	12.4	(6位)	15.9	(36位)	
		全国	15.5	—	14.5	—	14.3	—	14.9	—	
膵臓		宮城県	10.4	(9位)	12.8	(45位)	12.4	(32位)	12.2	(23位)	
		全国	11.6	—	11.5	—	11.9	—	12.3	—	
子宮頸部		宮城県	10.4	(4位)	9.4	(1位)	11.3	(6位)	9.3	(2位)	
		全国	14.5	—	14.1	—	14.1	—	13.9	—	
子宮体部		宮城県	18.4	(20位)	17.4	(9位)	18.6	(19位)	18.8	(14位)	
		全国	18.6	—	19.0	—	19.5	—	20.2	—	
乳房		宮城県	100.3	(25位)	103.3	(42位)	104.4	(44位)	103.6	(38位)	
		全国	102.3	—	97.6	—	98.4	—	100.5	—	

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

## ○部位別進展度（割合）

（単位：％）

			限局	リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	不明
全部位	宮城県	H28	49.9	10.6	12.5	17.6	9.3
		R1	50.1	9.7	13.5	17.6	9.1
	全国	H28	47.7	9.6	13.3	18.3	11.1
		R1	49.0	9.4	13.7	18.6	9.3
胃	宮城県	H28	65.9	10.3	4.9	13.2	5.7
		R1	68.8	8.5	5.2	12.0	5.6
	全国	H28	58.2	10.2	7.7	16.8	7.2
		R1	59.6	9.7	7.7	16.9	6.1
肺	宮城県	H28	33.5	10.1	8.1	38.2	10.2
		R1	34.8	10.2	9.4	35.3	10.3
	全国	H28	34.3	10.0	8.3	36.9	10.5
		R1	35.4	9.1	10.0	36.4	9.0
結腸	宮城県	H28	49.2	17.5	8.9	17.6	6.8
		R1	48.9	17.1	9.6	17.7	6.6
	全国	H28	46.1	15.7	11.3	18.6	8.4
		R1	47.6	15.4	11.6	18.9	6.5
直腸	宮城県	H28	48.1	22.1	6.5	15.8	7.6
		R1	51.0	20.0	7.2	17.6	4.1
	全国	H28	46.2	19.0	9.0	16.6	9.3
		R1	47.6	19.1	9.5	17.4	6.4
子宮	宮城県	H28	59.2	4.8	19.5	9.6	6.9
		R1	58.7	2.8	22.3	12.4	3.8
	全国	H28	55.8	3.6	21.7	10.5	8.3
		R1	57.4	3.7	22.3	10.1	6.5
乳房	宮城県	H28	62.1	21.8	2.9	6.1	7.2
		R1	61.9	20.9	4.4	6.6	6.2
	全国	H28	59.2	20.9	3.9	6.0	10.0
		R1	60.5	21.1	4.1	6.4	8.0

出典：全国がん登録 罹患数・率 報告

## ○がん拠点病院で治療を受けたがん患者の5年生存率（全部位）

（単位：％）

		H22-23	H24	H24-25	H25-H26	H26-H27
全国	実測生存率	58.8	59.5	59.5	59.7	60.3
	相対生存率	66.4	67.3	67.3	67.5	—
	ネット・サバイバル	—	—	—	—	66.2
宮城県	実測生存率	58.2	60.0	59.5	58.7	59.3
	相対生存率	65.5	67.5	67.1	66.2	—
	ネット・サバイバル	—	—	—	—	64.8

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」5年生存率集計報告書

○主な部位別 5 年生存率

(単位：%)

		H22-23	H24	H24-25	H25-H26	H26-H27
食道	全国	45.7	47.6	47.5	47.7	47.8
	宮城県	48.2	51.3	52.3	51.5	50.3
胃	全国	71.4	71.9	72.1	72.4	70.2
	宮城県	71.9	75.3	74.9	75.2	72.4
大腸	全国	72.6	72.8	72.6	72.5	70.9
	宮城県	72.6	72.7	71.4	70.5	67.5
肝細胞	全国	—	44.8	44.7	45.5	45.1
	宮城県	—	44.3	43.3	44.2	40.7
膵臓	全国	9.8	11.5	11.9	12.5	12.7
	宮城県	10.8	16.2	12.8	9.8	9.8
小細胞肺	全国	※1 —	11.7	11.7	11.6	11.5
	宮城県	※1 —	11.3	11.5	10.1	8.9
非小細胞肺	全国	※1 —	46.3	46.8	47.7	47.5
	宮城県	※1 —	48.0	47.4	46.0	47.5
乳 (女性)	全国	92.2	92.3	92.1	92.2	91.6
	宮城県	91.7	91.3	89.7	88.6	89.6
子宮頸	全国	75.0	75.4	75.2	75.1	74.4
	宮城県	69.6	70.3	70.2	71.0	70.6
子宮体	全国	82.2	※2 84.4	※2 84.4	84.2	83.0
	宮城県	80.2	※2 77.2	※2 79.9	84.0	82.7
卵巣	全国	—	—	—	63.7	64.5
	宮城県	—	—	—	61.2	64.5
前立腺	全国	98.8	98.5	98.5	98.4	95.1
	宮城県	97.5	95.4	96.0	96.0	93.8
腎	全国	80.1	81.7	82.0	82.7	81.6
	宮城県	80.2	85.1	83.3	82.2	76.5
膀胱	全国	68.4	67.3	66.8	66.2	62.6
	宮城県	62.6	61.8	63.7	60.5	56.6

※1 H22-23分は「肺がん」としてまとめて集計されています。(全国：41.4 宮城県：40.6)

※2 H24 及び H24-25 分は「子宮内膜がん」として集計された値を記載しています。



○がん検診受診率（宮城県県民健康・栄養調査）（単位：％）

	H12	H17	H22	H28	R4
胃	50.2	53.1	55.6	61.2	55.7
肺	61	71.2	68.5	74.1	71.9
大腸	41.3	51	52	59.9	59.9
子宮	37.3	43.5	53.2	51.5	53.8
乳	36.4	42.3	56.4	59.6	59.2

H12年及びH17年の調査では年齢上限なし、H22年以降の調査は69歳まで

○がん検診受診率（国民生活基礎調査）（単位：％）

			H25	(順位)	H28	(順位)	R1	(順位)
総計	胃	宮城県	51.5	(3位)	52.3	(3位)	53.3	(3位)
		全国	39.6	—	40.9	—	42.4	—
	大腸	宮城県	47.6	(2位)	51.8	(2位)	53.6	(3位)
		全国	37.9	—	41.4	—	44.2	—
	肺	宮城県	55.1	(2位)	59.3	(3位)	61.7	(2位)
		全国	42.3	—	46.2	—	49.4	—
	乳(女)	宮城県	56.4	(2位)	57.1	(3位)	59.8	(2位)
		全国	43.4	—	44.9	—	47.4	—
	子宮頸(女)	宮城県	51.3	(2位)	51.3	(2位)	52.2	(2位)
		全国	42.1	—	42.3	—	43.7	—
男	胃	宮城県	59.1	(2位)	57.3	(3位)	58.3	(3位)
		全国	45.8	—	46.4	—	48.0	—
	大腸	宮城県	51.5	(2位)	54.1	(2位)	55.8	(4位)
		全国	41.4	—	44.5	—	47.8	—
	肺	宮城県	59.9	(2位)	62.8	(3位)	64.4	(2位)
		全国	47.5	—	51.0	—	53.4	—
女	胃	宮城県	44.8	(4位)	47.2	(3位)	48.7	(3位)
		全国	33.8	—	35.6	—	37.1	—
	大腸	宮城県	44.0	(2位)	49.6	(2位)	51.8	(2位)
		全国	34.5	—	38.5	—	40.9	—
	肺	宮城県	50.7	(5位)	56.2	(4位)	59.2	(3位)
		全国	37.4	—	41.7	—	45.6	—

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

算定対象年齢は胃・肺・大腸・乳がんは40歳～69歳、子宮頸がんは20歳～69歳。

○市町村事業としてのがん検診受診状況

(単位：％)

		H28	H29	H30	R1	
胃	検診受診率	宮城県	15.9	15.0	14.0	13.8
		全国	8.6	8.6	8.1	7.8
	精密検査受診率	宮城県	91.5	92.2	90.0	92.3
		全国	79.5	79.6	79.9	83.0
	がん発見率	宮城県	0.11	0.11	0.11	0.13
		全国	0.08	0.08	0.07	0.12
	陽性反応適中度	宮城県	2.01	2.16	2.28	3.02
		全国	1.21	1.17	1.20	1.65
肺	検診受診率	宮城県	15.4	14.1	13.4	12.4
		全国	7.7	7.4	7.1	6.8
	精密検査受診率	宮城県	85.8	86.4	88.0	84.4
		全国	82.5	83.0	83.2	82.7
	がん発見率	宮城県	0.05	0.04	0.04	0.04
		全国	0.03	0.03	0.03	0.03
	陽性反応適中度	宮城県	2.79	1.98	1.89	2.26
		全国	2.22	2.07	1.87	1.93
大腸	検診受診率	宮城県	14.8	13.7	13.1	12.6
		全国	8.8	8.4	8.1	7.7
	精密検査受診率	宮城県	84.9	85.0	83.9	83.9
		全国	69.5	72.9	70.3	69.8
	がん発見率	宮城県	0.15	0.13	0.13	0.13
		全国	0.17	0.16	0.16	0.17
	陽性反応適中度	宮城県	3.22	2.64	3.10	2.84
		全国	2.77	2.75	2.87	2.79
乳	検診受診率	宮城県	29.2	28.1	27.0	26.5
		全国	18.2	17.3	17.2	17.0
	精密検査受診率	宮城県	96.9	98.8	96.9	98.1
		全国	87.6	88.7	89.0	89.3
	がん発見率	宮城県	0.30	0.32	0.32	0.30
		全国	0.29	0.29	0.30	0.30
	陽性反応適中度	宮城県	6.57	7.27	7.39	7.22
		全国	4.15	4.39	4.60	4.70
子宮頸	検診受診率	宮城県	25.3	24.5	23.5	23.1
		全国	16.4	16.2	16.0	15.7
	精密検査受診率	宮城県	94.1	91.1	92.0	94.3
		全国	75.4	75.1	75.4	74.6
	がん発見率	宮城県	0.02	0.01	0.02	0.01
		全国	0.04	0.03	0.03	0.02
	陽性反応適中度	宮城県	1.18	0.53	1.04	0.69
		全国	1.68	1.46	1.25	1.01

出典：データからみたまやぎの健康（地域保健・健康増進報告）

○患者体験調査（平成30年 都道府県別調査結果 補正值）

質問	設問	宮城県	全国
問 12	がんと診断されてから治療を始める前の間に、病気のことや療養生活に関して誰かに相談することができましたか ・分子：「相談できた」と回答した人の割合	79.9%	76.3%
問 15-1	「がん治療」を決めるまでの間に、医療スタッフから治療に関する十分な情報を得ることができましたか ・分子：「とてもそう思う、ある程度そう思う」と回答した人の割合	74.9%	75.0%
問 18	治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがありますか ・分子：「ある」と回答した人の割合	9.0%	4.9%
問 19	病院で医療を受けるために必要な金銭的負担が原因で、次に挙げたようなこと（※経済的な負担への対応）がありましたか ・分子：いずれかの選択肢を選択あるいは「その他」に記載のある回答者（「上記のようなことはなかった」以外の回答者）の割合	36.3%	26.9%

問 23	<p>今回のがんの診断・治療全般について総合的に0-10で評価すると何点ですか？0点が考えられる最低の医療、10点が考えられる最高の医療とします（平均点）</p>	8.0	7.9
問 24	<p>がんと診断された時、収入のある仕事をしていましたか。 ・分子「はい」と回答した人の割合</p>	50.8%	44.2%
問 29-1	<p>がんと診断された時のお仕事について、がん治療のため以下のようなことがありましたか（分母：診断時収入のある仕事をしていたと回答したがん患者）</p>		
	・分子：「退職・廃業した」と回答した人の割合	24.5%	19.8%
	・分子：「休職・休業はしたが、退職・廃業はしなかった」と回答した人の割合	57.1%	54.2%
問 30-1	<p>一般の人がうけられるがん医療は数年前と比べて進歩した ・分子：「とてもそう思う、ある程度そう思う」と回答した人の割合</p>	77.1%	75.6%
問 35-1	<p>がんになったことで、家族に負担（迷惑）をかけていると感じる ・分子「とてもそう思う、ある程度そう思う」と回答した人の割合</p>	66.1%	47.2%
問 35-2	<p>がんになったことで、家族以外の周囲の人に負担（迷惑）をかけていると感じる ・分子「とてもそう思う、ある程度そう思う」と回答した人の割合</p>	35.4%	21.4%
問 35-5	<p>身体的なつらさがある時、すぐに医療スタッフに相談できますか ・「とてもそう思う、ある程度そう思う」と回答した人の割合</p>	48.2%	46.5%
問 35-6	<p>心のつらさがある時、すぐに医療スタッフに相談できますか ・「とてもそう思う、ある程度そう思う」と回答した人の割合</p>	30.6%	32.8%
問 35-7	<p>現在自分らしい日常生活を送れていると感じますか ・「とてもそう思う、ある程度そう思う」と回答した人の割合</p>	59.9%	70.5%
問 36-2	<p>がんやがん治療に伴う身体の苦痛がありますか ・分子：「あまりそう思わない、そう思わない」と回答した人の割合</p>	49.7%	55.4%
問 36-4	<p>がんやがん治療に伴い、気持ちがつらいですか ・分子：「あまりそう思わない、そう思わない」と回答した人の割合</p>	55.7%	62.0%
問 36-5	<p>がんやがん治療にともなう身体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っていることがありますか ・分子：「あまりそう思わない、そう思わない」と回答した人の割合</p>	59.8%	69.2%

出典：患者体験調査（平成30年）国立がん研究センターがん対策研究所

・全体の留意点：サンプル病院（がん診療連携拠点病院）の影響が大きい可能性があり、かならずしも他の他の都道府県との比較に向けていないことに留意する必要がある

※ 経済的な負担への対応：「日常生活における食費、医療費を削った」「受診の間隔を延ばしたり、受診を一時的に見送った」「主治医に処方薬や治療法を安価なものに変更してもらった」「治療頻度や治療内容（薬など）を主治医に相談せず自分で減らした」「長期に貯蓄していた貯金を切り崩した」「収入を増やすため、家族が仕事を増やした、あるいは働くようになった」「親戚や他人から金銭的援助を受けた（借金を含む）」「車、家、土地などを手放した、あるいは引っ越した」「家族の進学先を変更した（進学をやめた/転校した）」「その他」









